

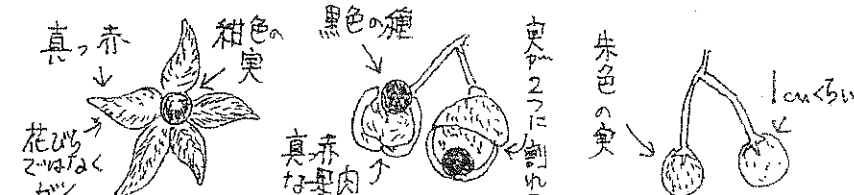
三貫清水の森の植物

- ヒトダイノツチ
- エノコログサ
- カラスウリ
- ミズヒキ
- マルバツアケボノ
- クス
- スズクサ
- ヒヨドリジョウゴ
- カトリイバラ
- ヒカンバナ
- カラスウリ
- ミヅハバ
- キツネノマゴ
- ホテイソウ
- イヌタバ
- センブリ
- ムクキ
- フスキ
- ミスギ
- アカメカシ
- シラカン
- シテ
- チヤ
- ズルチ
- コナラ
- ネズミモチ
- ニフコ
- クワ
- ゴズイ
- カサ
- ハンナ
- クサギ

三貫清水の由来

三貫清水は、室町時代の武将太田道灌の中かしの地です。太田道灌がこの地に狩りに来た時、村人の湧き水で茶をたてて出したところ、大変おいしかったことから、三貫文(約500円)のほうびを与えたことから、この湧き水を三貫清水と呼ぶようになった。この付近は、鎌倉街道と羽根倉道が南に、河越の原中道が東西に通る。交差点であり、政治的に重要な地であったと思われる。また、鴨川とこの左岸の斜面は防衛上の要所でもあった。おもしろい。

赤でアピール！秋の植物



真赤 ↓ 花びらでなくがく
クサギ 奥木 シソ科 落葉小高木、葉を切ると臭い。

黒色の種 ↓ 真赤な果肉 ↑
ゴズイ 樺葉 ミリバツクリ科 落葉小高木、葉がツヤツヤしている。

朱色の実 ↓
ヒヨドリジョウゴ 鵜飼ノハナ科 つる草、葉や茎が細かい毛でまみれている。

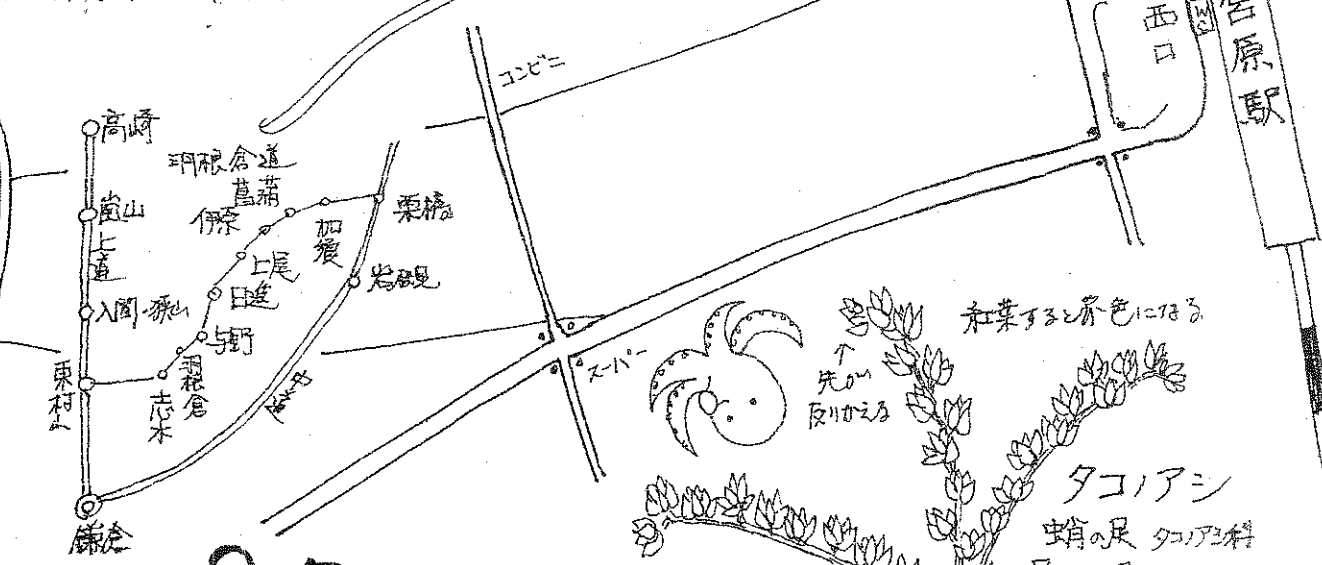
太田資長(道灌) 1432-1486年



扇谷と信濃の家宰を勤めた名将。古河公方に対抗して、江戸城、河越武などと戦った。学問にもすぐれ、1464年に京都に上洛した際には、天皇に、関東のことは所かを問われ、「露おかぬ方のみりり、蛇の窟の広き武蔵野の原」「か庵は松原長く海近く富士の高嶺と軒端はぞ見ゆ」と和歌を詠んだと言われる。武将としての高さと主人の工形変化に恐れられ、むかしは「むかしは暗殺された」といわれている。

鎌倉街道と羽根倉道

東京都東村山市で鎌倉街道と分かれた羽根倉道は、志木、与野、日進、上尾、伊奈、葛蒲、加須、栗橋付近まで、中道に通ります。三貫清水の森付近は、昔の様子を感じられる貴重な場所になっています。また、上尾市内の芝川に渡る橋には、鎌倉橋の名が残っています。



水路の植物

- ミヅツバ
- ヨシ
- タコアシ
- フトイ
- コシロセウダングサ

水路にいるよ。

スジエビ 水草のそばにいます。
このよな生き物がいるのは三貫清水のよからです。
メダカ 群れをたいて泳いでいます。

日進城内は、誰の陣地なのか、いつごろのものなのか不明です。跡も残っていません。地形などから、この辺りかと推定されています。

鴨川に河がたて突き出したこの台地には、日進と戸崎と結ぶ古くからの通が通っていたとされています。

赤くなつたかな？ タコアシ

2021.10.24調査 小川 浩
さいたま市北区の鴨川左岸は急な斜面が続きます。斜面の下からは湧き水が時々湧き出し、低地を潤っています。台地、斜面、低地、多様な環境に合わせて、多くの生き物が暮らししています。

紅葉すると赤色になる
タコアシ 蛸の足 タコアシ科 湿地に見られる。 国・県レッドデータブック 絶滅危惧種Ⅱ類
高さが低い 果穂が赤く紅葉した葉が逆さまにたがの足に似ている
ヒトアリの卵に手を入れた湿地に産んでたヤシもある。